

今週（4月26日から4月30日）の短期金融市場動向

●インターバンク市場

今週のインターバンク市場は、前週に続き資金調達意欲が強く、無担保コールO/N加重平均レートは高止まりとなった。週初26日は、週末要因が剥落したものの、地銀業態を中心に積極的な調達姿勢が見られ、加重平均レートは横ばいの▲0.012%となった。その後も概ね▲0.01%台前半で推移したが、30日は月末要因により調達を控える動きが散見され、一巡後は低下する場面も見られ、加重平均レートは▲0.01%台後半まで低下した。ターム物に関しては、資金調達ニーズが強いものの、オファー案件が少なく、ショートターム物で▲0.01%前後の出会いが見られた程度であった。日銀当座預金残高は、先週末と横ばいの530兆円台前半での推移となった。

4月26日～27日に開催された金融政策決定会合では、現状維持が決定された。

●レポ市場

今週のGC O/N物は、概ね▲0.110～▲0.085%程度の水準で推移した。

SC個別銘柄では、5年140～147、10年350～362、20年170～176、30年60～70、40年9～13などカレント近辺の銘柄にビッドの出入りが多く見られた。

●短国市場

今週の短国市場は、大型連休を控え動意に乏しい展開となる中、利回りは横ばい圏での推移となった。3M物は▲0.105%近辺、6M物は▲0.110%近辺での出会いが見られ、1Y物においては閑散なマーケットとなった。

28日に実施された短国買入オペは、前回と同額の7,500億円でおファーされ、平均落札利回較差+0.005%、按分落札利回較差+0.003%と、やや弱めの結果となった。

●CP市場

今週のCP市場は、月末週にあたり、償還総額7,000億円程度に対して発行総額8,500億円程度と発行超のマーケットとなった。月末発行を中心に電気・ガス、機械、鉄鋼等の業態で大型の発行が見られたほか、石油・石炭、輸送機器等の業態でもまとまった額の発行が見られた。市場発行残高は週半ばまでは23兆2,000～5,000億円程度で推移しており、今月末の残高は先月末（19兆6,775億円）を大幅に上回る見込みとなっている。発行レートについては、新型コロナ金融支援オペの担保確保の買いニーズからか、大半がマイナス圏での推移となっており、特に発行頻度の低い銘柄に関しては強いマイナスでの買いも見られた。

26日にはCP等買入オペが事前予定通り4,000億円、下限レートは前回比▲1bpの▲0.1%でおファーされた。期明けの発行増加により玉の入替ニーズが一定程度あったと見られ、平均落札レート▲0.017%、按分レート▲0.024%と前回（平均▲0.021%・按分▲0.029%）比で平均・按分ともに上昇した。

●短期金融市場関連指標

	日経平均 (円)	新発10年物 国債利回り (%)	為替 (ドル/円中心相場)	無担保コールO/N (加重平均・%)	東京レポレート(翌日物・ T+1スタート・%)	日銀当座預金残高 (億円)
4/26 (月)	29,126.23	0.070	107.88	△ 0.012	△ 0.100	5,301,800
4/27 (火)	28,991.89	0.080	108.25	△ 0.013	△ 0.096	5,314,900
4/28 (水)	29,053.97	0.090	108.92	△ 0.014	△ 0.103	5,321,000
4/29 (木)						
4/30 (金)	28,812.63	0.090	108.95	△ 0.017	△ 0.099	5,330,700

来週・再来週（5月6日から5月14日）の短期金融市場動向

●経済カレンダー

	国内主要経済指標	国債等入札予定			海外主要経済指標
5/3 (月)	憲法記念日				3月の米建設支出 4月のISM 製造業景況指数 London祝日(May Day)
5/4 (火)	みどりの日				3月の米貿易収支 3月の米製造業新規受注・出荷・在庫
5/5 (水)	こどもの日				4月のISM 非製造業景況指数
5/6 (木)	金融政策決定会合議事要旨(3月18・19日分 8:50)	TB6M 34,000億円 5/10発行			英中銀MPC結果発表
5/7 (金)	財政資金対民間収支前月実績/当月見込み(財務省 15:00) 4月のマネタリーベース(日銀 8:50) 3月の毎月勤労統計調査速報(厚生労働省 8:30)	TB3M 65,000億円 5/10発行	流動性供給 4,000億円 5/10発行	エネルギー 対策借入 8,000億円 5/20借入	3月の米卸売売上高 3月の米消費者信用残高 4月の米雇用統計
5/10 (月)	5月の日銀当座預金増減要因見込み(日銀 8:50)				
5/11 (火)	3月の全世帯家計調査(総務省 8:30) 決定会合における主な意見(4月26・27日分 8:50)	10Y 26,000億円 5/12発行	交付税借入 11,000億円 5/21借入		
5/12 (水)	4月のマネタリーベースと日本銀行の取引(日銀 8:50) 3月の景気動向指数速報(内閣府 14:00)				4月の米財政収支 4月の米消費者物価指数 1-3月期の英GDP速報値
5/13 (木)	4月の景気ウォッチャー調査(内閣府) 3月の国際収支(財務省所管・日銀作成 8:50)	30Y 9,000億円(見込) 5/14発行			4月の米生産者物価指数
5/14 (金)	4月のマネーストック(日銀 8:50) 3月の特定サービス産業動態統計速報(経済産業省 13:30)	TB3M 65,000億円(見込) 5/17発行	国有林野借入 500億円(見込) 5/25借入		4月の米小売売上高 3月の米企業在庫 4月の米鉱工業生産・設備稼働率 5月のミンガン大消費者信頼感指数速報

●資金需給予想

単位：億円	銀行券要因	財政等要因	資金過不足	オペ種類	期日分	新規実行分	オペ合計	実質過不足	需給要因
5/3 (月)	憲法記念日								
5/4 (火)	みどりの日								
5/5 (水)	こどもの日								
5/6 (木)	3,000	▲ 31,600	▲ 28,600	CP買入 国債補充	▲ 300 400		100	▲ 28,500	2Y発行△30000償還6100
5/7 (金)	3,000	▲ 42,000	▲ 39,000				0	▲ 39,000	税保険料揚げ 交付税借入△11000償還11000
5/10 (月)	2,000	▲ 8,000	▲ 6,000				0	▲ 6,000	TB3M発行△65000償還66500 TB6M発行△34000償還30500 流動性供給△5000
5/11 (火)	2,000	1,000	3,000				0	3,000	交付税借入△11000償還11000
5/12 (水)	2,000	▲ 29,000	▲ 27,000	全店共通	▲ 3,400		▲ 3,400	▲ 30,400	源泉所得税 社会保障の払い 10Y発行△26000
5/13 (木)	1,000	0	1,000				0	1,000	
5/14 (金)	1,000	▲ 9,000	▲ 8,000	被災地支援	▲ 400		▲ 400	▲ 8,400	30Y発行△9000 交付税借入△11000償還11000
週間合計	14,000	▲ 118,600	▲ 104,600	—	▲ 3,700	0	▲ 3,700	▲ 108,300	

5/6は日銀予想、5/7以降は当社予想

●短期金融市場の見通し

インターバンク市場は、GW明けのコール市場は月末要因の剥落や、日銀の点検による新施策もあって調達意欲は強いことが見込まれ、レートは高止まりが予想される。レポ市場は、参加者のスタンスに大きな変化がなければ、GC O/N物のレートは▲0.105～▲0.085%程度の水準で推移することが見込まれる。短国市場は、6日に6M物、7日に3M物、14日に3M物の入札が実施予定となっている。需給やレート水準を含め、市場動向が注目される。CP市場は、特段のイベントはない。例年、大型連休明けは閑散としたマーケットとなることが多い。再来週は14日にCP等買入オペが予定されている。

主要なイベントは、海外では6日に英中銀MPC結果発表、7日に4月の米雇用統計、12日の4月の米消費者物価指数、1-3月期の英GDP速報値が予定されている。

- 本資料は信頼できるとされる各種データに基づいて作成されておりますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
- 本資料は何らかの取引を誘引することを目的としたものではありません。売買に関する最終判断はお客様ご自身でなされようようお願い申し上げます。
- 金融商品のお取引には価格変動等によるリスクがあります。金融商品のお取引には手数料等をご負担頂くものがあります。金融商品取引法に基づきお渡りする書面や目録見書をよくお読みください。